



Sigfox温湿度センサー端末 SGTHA 仕様

電源を確保できない場所の温度・湿度情報を遠隔から基地局へ送信できる温湿度測定器

温湿度計のように 壁にかけるだけ SGTHA



温度・湿度センサーを搭載

温度・湿度のセンサーを搭載していますので、設置場所周辺の温度管理や湿度管理が低コストで運用できます。温度：-20～50℃ 湿度：10～90%RH (0～50℃)



送信間隔

送信間隔を15分、30分、60分、120分から選べます。



パソコン不要で情報を送信

温度・湿度情報をパソコンなどを介さずに、管理サーバーに情報送信できます。




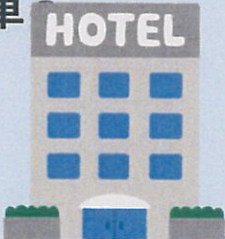




電池駆動

低消費電力で駆動しますので、電池でも長期間にわたり環境測定できます。
推奨乾電池は、単3形リチウム乾電池(1.5V)×2本です(電池は付属していません)





温湿度センサー端末 進行中案件・営業先・使用例

<p>商業施設・工場 の”温湿度”管理</p> 	<p>ホテル厨房冷蔵庫 ”温度”監視</p> 
<p>ハウス内 の”温湿度”管理</p> 	<p>学校・職場・福祉施設 の熱中症対策</p> 
<p>トラック運送中の ”冷蔵冷凍温度”管理</p> 	<p>スーパー の”温度”管理</p> 

’20年10月12日
本資料は3ページです。

3密や熱中症対策に最適！CO₂濃度や温湿度の見える化を実現する Sigfox 通信用、CO₂温湿度センサー端末とデータ閲覧サービスを新発売！

マスプロ電工は、好評発売中の Sigfox 通信用温湿度センサー端末 **SGTHA** に加え、Sigfox 通信用CO₂温湿度センサー端末 **SGTHA-CO2** と、**SGTHA**、**SGTHA-CO2** 用データ閲覧サービス(MASPRO IoT Cloud Service(SG))を11月初旬に発売します。
CO₂温湿度センサー端末とデータ閲覧サービスを組合わせて運用することにより、離れた場所のCO₂濃度や温湿度データの見える化を実現します。



SGTHA-CO2

見える化

CO₂温湿度センサー端末 SGTHA-CO2

通信方式 : Sigfox 通信
送信出力 : 20mW 以下
CO₂濃度測定範囲 : 0~40,000ppm
(保証範囲 400~5,000ppm(0~+50°C))
温度測定範囲 : 0~+50°C
湿度測定範囲 : 10~90%RH(0~+50°C)
使用電池 : 単3形リチウム電池(1.5V) × 2
外観寸法 : 67(H) × 92(W) × 29(D)mm (本体)
67(H) × 176(W) × 29(D)mm (アンテナ、
キーリング含む)
質量 : 約90g (乾電池含まず)

※1 HACCP : 令和3年より施行される食品の原料や製造工程の衛生管理制度。
※2 GDP : 医薬品の品質保持のための適正流通管理ガイドライン。

製品名	型式
CO ₂ 温湿度センサー端末 ^{※3}	SGTHA-CO2
SGTHA-CO2用データ閲覧サービス(MASPRO IoT Cloud Service(SG)) ^{※4}	SGTHA-CO2-SC
温湿度センサー端末 ^{※3} (2020年2月発売済)	SGTHA
SGTHA用データ閲覧サービス(MASPRO IoT Cloud Service(SG)) ^{※4}	SGTHA-SC

※3 端末の利用には別途 Sigfox 通信契約が必要です。

※4 データ閲覧サービスは当社対応センサー端末と組合わせてご利用いただくサービスです。
データ閲覧サービスの利用にはインターネット回線が必要です。

【お問合わせ先】

〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納 80

インターネットホームページ

www.maspro.co.jp

報道関係者様 広報グループ 櫻井・端山 TEL(052)802-2226

お客様 IoT営業部

(西日本) TEL(052)802-2210

(東日本) TEL(03)5434-8456

電波で未来を考える

＝ マスプロ電工 ＝

■開発の背景

現在、職場や学校、工場、倉庫などで、新型コロナウイルス感染拡大防止策の3密回避や、熱中症対策のための室内環境の管理・改善、また HACCP、GDP など流通する食品の衛生管理や医薬品の品質保持に、CO₂濃度や温湿度管理の必要性が高まっています。しかし、離れた場所や複数箇所の環境データを常時把握、管理するためには、それぞれの場所へのセンサーや通信機の設置工事、電源工事などの初期費用、通信費やメンテナンスなどの高いランニングコストが必要でした。

マスプロ電工が今回発売するCO₂温湿度センサー端末 **SGTHA-CO2** は、Sigfox 通信に対応しているため、安価な通信費で離れた場所に設置したセンサー端末からのCO₂濃度や温湿度のデータを一定間隔で送信できます。また、小型で簡単に設置でき、単3形乾電池で駆動するため、導入の際の設置工事、電源工事が必要ありません。

また、データ閲覧サービス (MASPRO IoT Cloud Service (SG)) と組み合わせることで、収集した複数の端末データの蓄積と管理ができ、容易にCO₂濃度、温湿度の測定・管理システムを構築できます。

CO₂温湿度センサー端末 SGTHA-CO2 の特長

■Sigfox 通信に対応

LPWA の通信方式のひとつ、Sigfox 通信に対応していますので、低消費電力、安価な通信費で離れた場所に設置したセンサー端末からのデータを一定間隔で送信できます。

■電源工事不要、電池駆動で低消費電力

本器は乾電池で駆動しますので、電源工事不要で設置場所を選びません。低消費電力で通信ができますので、単3形リチウム乾電池2本で約3か月(15分に1回送信の場合)にわたって使用できます。また、電池残量が少なくなったときに通知するように設定することができます。

■簡単設置

本体内部に強力な磁石を内蔵、また本体上部にはキーリングが取付けてありますから、ロッカーやスチール製の壁面、フックなどへ容易に設置できます。

■パソコン不要で情報送信

CO₂濃度や温湿度の情報は、パソコンなどを介さずに管理サーバーへ送信できます。

■送信間隔を選択可能

センサー端末からのデータ送信間隔を15分・30分・60分・120分から選べます。

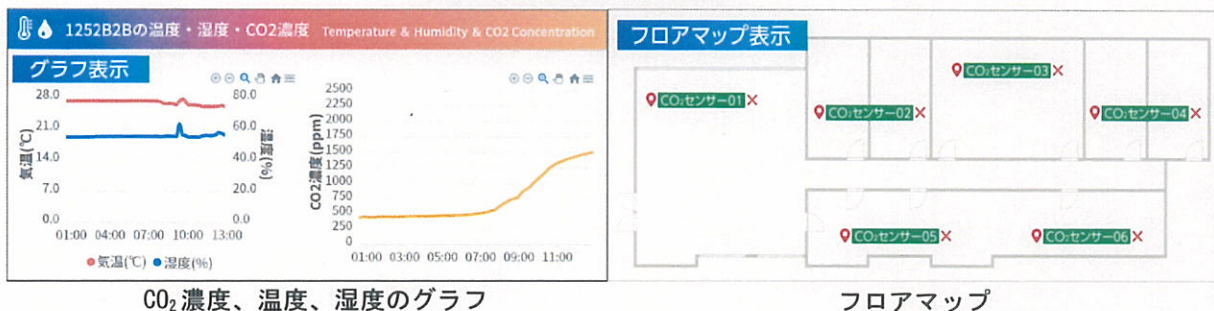
データ閲覧サービス (MASPRO IoT Cloud Service (SG))

SGTHA-CO2-SC/ SGTHA-SC の特長

■複数台のセンサー端末のデータを見える化

データ閲覧サービスを導入することで、設置した複数のセンサー端末のデータを見える化ができます。また、個々の端末配置をフロアマップ表示することができます。

SGTHA-CO2-SC 表示画面



■過去の測定データを蓄積可能

サービス利用中はデータを蓄積 (標準で1年) でき、いつでも確認することが可能です。

■蓄積したデータを出力可能

本サービスに蓄積したデータは、CSV/Excel/PDF 形式で出力できますので、計測データの活用や、報告書の作成に利用可能です。

■いつでもどこでも確認が可能

本サービスは、お客様によるサーバー設置、管理は必要ありません。パソコンやタブレットの Web ブラウザーを利用してアクセスできます。

■メールで測定値を通知

設置したセンサー端末の測定値が設定した条件を超えた時に、メールでお知らせできます。

■カスタマイズ対応

当社が提供する標準仕様から、画面表示や機能のカスタマイズ対応が可能です。(有償)

※本サービスの利用にはインターネット回線が必要です。